

目指せ！ なでしこ2025

ジュニアから社会人まで奮闘中！！



皆さんは“和泉テクノFC”をご存知ですか。和泉市のテクノステージに本拠を置く、関西女子1部リーグの社会人サッカーチームと子どもたちの女子サッカーチームです。今回は監督の中塚康博氏(写真右端)を訪ね、地域に根差した活動と、なでしこ、そしてプロのWeリーグを目指す夢を伺いました。

長身でがっちりした体格の中塚氏は、元々は柏レイソルに所属し、チームメイトのブラジル代表カレカやロペスらとも激戦を繰り広げたディフェンダー。50メートル5.8秒、学生時代は突破されることはなかったそうですが、プロになってレベルの高さに驚き、さらにレズズの岡野は無茶苦茶速かった、と当時を振り返って苦笑いを見せてくれました。今、中塚氏が注力するのは自らが監督を務めるトップチームのさらなる強化と、子供たち(U-18、U-15、U-12)の育成。また、時間があれば幼稚園にも出向いての指導と、健全な心身を育み、そこから将来のなでしこが出てくれることが目標であり、夢です、と力強く語ってくれました。同席した酒井希代美氏(写真左端)は子供たちのコーチを担当し、「組織」での「協調」を教え、「人間力を培う」ことを心掛けているとのこと。



ところで間もなく開幕する関西リーグで活躍が期待されるブラジル出身のマルケス・フェルナンダ選手にも同席いただきました。大学時代はブラジル選抜で活躍し、アメリカのボルチモアやアイスランドでもプレー経験のある彼女のプレーにも興味がつきません。



“和泉テクノFC”では、小学5年生から高校生(女子)で、一緒にプレーする仲間を募集しています。初心者の方でも大丈夫。詳細はHPをご覧ください。

インタビューー：青年部 山中稔(情報発信研究委員会・写真右より2人目)

至福の時

仕事終わりのホッとする
ひと時『至福』を紹介し、
明日への活力源をお伝えします



温泉と美味しい料理 副会頭 森本 護 (大一機工株式会社 専務取締役)

大阪では、昨年のクリスマス寒波、今年に入り1月後半の寒波と、10年に一度の寒波襲来が何度もありました。

ところで私の故郷は、北海道道東の十勝地方で、近くには十勝川温泉や、秋になると鮭が遡上する十勝川と、自然豊かで食べ物も美味しく、そして十勝ワインも結構知名度があります。

少年時代には真冬の気温が零下25度前後ぐらいまで下がった事があり、非常に厳しい寒さを経験した記憶があります。

今でも休みが有れば北海道に帰省し、ゴルフをしたり、野外で食事をしたり、また地元の温泉で心身ともにリラックスしながら、実家近くで自然とのふれあいを楽しんでいます。

新型コロナウイルス感染症拡大の前は、北海道より届く食材で、年に一度は“北海道物産店”と称して知り合い仲間や、友達夫婦が集まり、食事会など楽しいひと時を過ごしたり、また還暦が過ぎた頃からは毎年夫婦で2泊3日、温泉場がある、主に九州方面に出かけ、1日目はゴルフを楽しみ、2日目は観光を楽しみ、地酒を飲みながら郷土料理に舌鼓し、そして観光先の人達とのふれあいも楽しんでいます。



今回の感染症拡大後は、生活も一変し、楽しみも半減しましたが、最近では友達夫婦と車で京都府京丹後市網野町方面に出かけ、温泉場がある近くの民宿に泊まり、蟹料理でお酒を飲み、また温泉に入り、大粒の汗を流し、その時々疲れを忘れることも楽しみの一つです。

外食も色々に変化に富んだ料理で楽しみがあり、家庭でもその季節に合わせた料理でお酒を飲みながら、世間話や思い出話など、これからの人生を楽しんでいきます。

これら全てが私の「至福の時」で、「至福の時」も時代とともに変わっていくものです。

